

## □■養成所ニュースプラス第1号 2026□■

今週から、今年度の「養成所ニュースプラス」の配信を始めます。第37期生や第38期生、そして配信希望の修了生の皆さん、どうぞよろしくお願ひします。

このメルマガでは、当養成所での学習や国家試験に関する情報をお伝えしていきます。また、「Plus Column」では、38期生向けに今号から4号まで「レポート作成講座」を、5号からは37期生や既卒生向けに「受験対策ミニ講座」を掲載します。38期生も、再来年の受験に向けてお付き合いください。

Plus Quiz では、国家試験の過去問題を紹介します。今回は1学期前期レポート科目の「ソーシャルワークの基盤と専門職」から、「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」に関する問題です。過去問は、正解を覚えるのではなく、正解でない選択肢のどこを直せば適切になるか考えることが大事です。早速、やってみましょう。

### ■Plus Quiz . . . . .

【第37回問題 65】「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」(2014年)におけるソーシャルワークの知(Knowledge)に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

1. ソーシャルワークの理論的基盤及び研究は、専ら医学の知見に基づいて構成されている。
2. ソーシャルワークの研究と理論の独自性は、閉鎖性と応用性にある。
3. 人々と作り上げてきたソーシャルワークの知は、それぞれの国や各地域においても、また国を越えて普遍的に、それぞれの形で、より適切に実践されることになる。
4. ソーシャルワークの知は、西洋の理論や知識を根拠としたものであることが期待されている。
5. 多くのソーシャルワーク研究と理論は、サービス利用者との双方向性のある対話的過程を通して共同で作られている。

(注)「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」とは、2014年7月の国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)と国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)の総会・合同会議で採択されたものを指す。

正答と解説は最後に記載してあります。

### ■Yoseijo Info . . . . .

- ・(37期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ

申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。

本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。

- ・(38期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ

「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。

- ・(38期生)見込書類(実務経歴証明書)のさしかえについて

入学願書提出時に「実務経歴見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経歴証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。

- ・受講の手引に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。

レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

- ・(第37-38期生)今夏のスクーリングの日程及び会場のご案内です。

詳しくはこちら→[http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page\\_id=356](http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=356)

### ■Test Info . . . . .

国家試験に関する情報をお届けします

・第39回国家試験は、令和9年2月上旬です。

詳しくはこちら→<https://www.sssc.or.jp/shakai/gaiyou.html>

・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。

詳しくはこちら→<https://www.spw-mosi.com/exam/>

※本メールマガジンに模試受験の手引き（PDF データ）を添付しています。

#### ■Plus Info . . . . .

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/>

#### ■Back Number . . . . .

過去のバックナンバーはこちら→[http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page\\_id=2686](http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686)

#### ■Plus Column . . . . .

##### 【レポート作成講座第1回／課題を捉える1】

第38期生入学オリエンテーション動画では、一番初めに作成する「ソーシャルワークの基盤と専門職」についてお伝えしました。今回は1学期中期2科目の課題について確認していきましょう。

「医学概論」の課題番号1・2では、「レポート作成のポイント」に作成手順や内容が示されています。手順や内容に漏れがないように作成しましょう。課題1では、対策をまとめたうえで、皆さんがいかなる対策を講じるべきか、講じているかを述べなくてはなりません。代わるものとして、施設が講じる対策でもよいと4つ目にあります。課題2では、「効果的な改善策」が求められています。こちらも、知的障害者支援の現場で実践しやすい効果的な改善策を述べてもよいと3つ目にあります。特に支援現場に従事している方は検討してみてください。

次に「ソーシャルワーク演習」です。演習のレポートは、皆さんの経験した事例を踏まえて考えを述べる課題が多くあります。それは、皆さんの学んだ知識をただまとめるだけでなく、現場での支援と照らし合わせて理解することが必要だからです。

今回は、テキストを読み「面接の構造化」についてまとめ、皆さんの考えを述べます。テキスト等参考文献を引用するだけでは「あなたの考え」にはなりません。皆さんの経験やクライアントを想定して述べてもよいとありますので、そこで独自性を出すようにしましょう。学んだ面接の構造化という知識を、経験等と結び付けてください。

##### 【Plus Quiz . . . . . 正答と解説】

「ソーシャルワークの基盤と専門職」は共通科目と専門科目それぞれで出題されます。「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」は様々な問われ方で出題されてきました。

共通科目テキスト11第2章第1節にもあるように、「ソーシャルワークの定義」（2000年）が見直され、2014年に国際ソーシャルワーカー連盟と国際ソーシャルワーク学校連盟が「ソーシャルワーク専門職の定義」として採択しました。特徴として、多様性の尊重や西洋主義・近代主義への批判、マクロな社会変革の協力が挙げられます。定義の本文だけでなく、「受講の手引（第37期生）」118ページから（38期生は120ページからです。）の「注釈」も合わせて読むことをお勧めします。

今回取り上げた問題は注釈の「知」の内容が、誤った内容に書き換えられて選択肢が作られています。以下に該当する部分を示しますので、「注釈」で確認してください。また、この問題は「2つ」選ぶ五者択二問題で

す。正しい選択肢がわかりやすい場合はよいのですが、正しい答えを1つ選んでも2つ目が見分けづらいことが多々あります。誤りの選択肢を明らかに消去できる知識を積み重ねていきましょう。

1. ×「ソーシャルワークは、複数の学問分野をまたぎ、その境界を超えていくものであり、広範な科学的諸理論および研究を利用する。」とあります。専ら医学の知見に基づくものではありません。

2. ×ソーシャルワークの独自性は「その応用性と解放志向性にある。」とあります。閉鎖性は複雑で多様な課題に取り組むソーシャルワークの独自性とは言えません。

3. ○「ソーシャルワークの知は、先住民の人々と共同で作られ、ローカルにも国際的にも、より適切に実践されることになるだろう。」とあり、正解です。

4. ×「ソーシャルワークは特定の実践環境や西洋の諸理論だけでなく、先住民を含めた地域・民族固有の知にも拠っていることを認識している。」とあります。2000年の定義の見直しは、西洋の理論や知識を肯定し地域・民族固有の知を否定してきた点にあります。

5. ○「多くのソーシャルワーク研究と理論は、サービス利用者との双方向性のある対話的過程を通して共同で作られられてきたものであり、それゆえに特定の実践環境に特徴づけられる。」とあり、正解です。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus